

令和6年度 第4回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月12日（水） 13時30分～15時30分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 CSルーム
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、村松 幸男、清水 淳子、長谷川 真利子、藤原 四郎（学校支援コーディネーター）、鈴木 里佳（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 石野 和彦、伊藤 文雄
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也（北部協働センター）
- 6 学 校 柳瀬 美穂（校長）、倉田 智幸（教頭）、徳井 雅子（主幹）、太田 正之（CS担当教職員）、片山 里紗（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1）たてわり遊び参観の感想等について
 - （2）学校関係者評価について
 - （3）次年度の学校運営の基本方針について
 - （4）学校運営協議会の自己評価について
 - （5）夢育やらまいか事業CS加算分の報告について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 片山 里紗

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。その後、委員の方たちには、30分程度たてわり遊びを参観していただいた。議長については、鈴木里佳委員に依頼する旨、確認された。（前回承認済）

（1）たてわり遊び参観の感想等について

- ◆他学年のつながりは大切だと感じた。（清水委員）
- ◆6年生がリーダーとなり頑張る姿が見られた。他学年同士のつながりを作ることも大切だと思う。（藤原委員）
- ◇色々な学年の子供が集まって遊ぶということが少なくなり、たてわり活動の時間が他学年交流の良い機会になるだろう。（校長）

多くの委員の方から、他学年同士の交流により子供たちが楽しそうに活動していて、その姿から元気をもらえた。との声があった。

(2) 学校関係者評価について

議長の指示により、校長より資料に基づき、学校関係者評価について説明がされた。
各委員より、以下の感想等があった。

- ◆「安心して過ごせる場所」が大事だと思うのと同時に、伸びてほしいという気持ちもあるだろう。(清水委員)
- ◆様々な性格の子供がいる中で、アンケートの内容を負担に感じてしまう子供もいるのではないか。(長谷川委員)
- ◆全員が全員安心して過ごせる場所を作るとするのは難しいのだろう。そのためにも、誰か一人でも褒めてあげる、ありのままを受け入れてくれる人がいると違うのではないか。(佐々木副会長)
- ◇物事は、見る人や見方を変えるだけで全然違った印象になる。そのことから、色々な人と関わるということが大事だろう。(校長)

- ◆クラスの中でも、安心して過ごせないと感じる子供もいるだろう。色々な考え方、感じ方があって当然だが、それぞれの気持ちをそのままを受け入れるという体制が大切だろう。(伊藤会長)

(3) 次年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より次年度の学校運営の基本方針について説明がされた。
各委員より以下の感想等があった。

- ◆部活動がなくなり、子供たちは今後、得意分野をどう発揮していけば良いのか。
(村松委員)
- ◇体育の授業や運動会、持久走記録会のような校内行事を、より大事にしていきたい。(校長)

- ◆他学年との関わりが持てるたてわり活動のような機会があると、そこで感じた上下関係も子供たちの今後に役立つだろうと感じた。(藤原委員)
- ◆色々な先生が関わってくれるというのは、とても良いと感じた。先生と子供の相性もあると思うので、クラスだけでなく、学校全体で関われるのは良いと思う。
(鈴木里佳委員)
- ◇学校で楽しい行事や授業があるから頑張れる、自分の力が高められたなどの実感ができることで、少しでも学校に行きたいと感じることができれば良いと考えている。(校長)

協議の結果、全員異議なく学校運営方針を承認した。

(4) 学校運営協議会の自己評価について

配付資料に基づき、学校運営協議会の自己評価について確認がされた。

(5) 夢育やらまいか事業CS加算分の報告について

議長の指示により、教頭より、花の会での必要物品等に関し、同事業予算で購入した旨の報告があり、委員の方からも、次年度に関して様々な活動でも使用していくことが確認された。

その他報告事項等

- ① 新年度第1回運営協議会は、令和7年5月16日（金）13：30～15：30CSルームで実施予定である。

以上